あ　馬見山の山麓にある馬見神社は、源為朝（後に鎮西八郎為朝）が１１５４年（平安時代）に社殿を建立したと、社伝として伝わっています。江戸時代には、嘉麻郡の総社として広く信仰を集めたとされています。現在も地域の方々が例祭を行っています。

い　毎年１０月下旬の週末に益富城跡に豊臣秀吉が築いたとされる一夜城を巨大パネルで再現、ライトアップしています。秀吉は、１５８７年に九州平定のために大軍で攻め、一夜で城壁を改修したように見せかけ、秋月方を降伏させました。

う　江戸時代、庄屋たちは、嘉麻川の水を漆生地区に引くために役所にお願いをしました。資金援助はなく、失敗すれば成敗するという厳しい条件付きで許可され、１６２１年に用水路は完成しました。現在でも漆生の水田を潤し、記念碑が建っています。

え　洋画家織田廣喜（１９１４～２０１２）は、千手村に生まれ、上京して二科展に入選しました。愛妻リラとの結婚、渡仏を機に個性溢れる作品を数多く生み出し世界に認められました。織田廣喜美術館は、炭鉱跡地を利用して１９９６年に開館しました。

お　沖出古墳は平成９年に県指定史跡に指定され、平成１５年に史跡公園として整備されました。発掘調査にもとづいて、前方後円墳を昔の姿に復元しています。全長がおよそ７０ｍあり、４世紀終わり頃の古墳です。

か　嘉穂アルプスは、古処山（８６０ｍ）、屏山（９２７ｍ）、江川岳（８６１ｍ）、馬見山（９７８ｍ）が連なる雄大な山々です。ツゲの原生林は国の特別天然記念物に指定され、ヤブツバキの密生地帯もあります。戦国時代は秋月氏の居城があった場所です。

き　白馬山にあるバクチノキ大木2本は、樹齢四百年を超え、そのうちの1本は、胸高周囲2．8m、樹高約15mにもなります。別名ハダカノキともいわれ、福岡県指定天然記念物に指定されています。

く　大酒飲みで槍の名手と言われた母里太兵衛は、播磨時代から黒田孝高（官兵衛）に仕え、後に益富城主となりました。福島正則が豊臣秀吉から与えられた名槍「日本号」を飲み取った話は、「黒田節」に謡われています。お墓は、大隈の麟翁寺にあります。

け　明治時代の初期に活躍した力士、不知火光五郎の墓は、梅林公園内の安国寺にあります。境内には立派な墓碑もあります。あまりの強さに毒殺されたとの説もあります。上山田小学校では、相撲体操が毎年披露されています。

こ　嘉麻市にあった旧国鉄の上山田線は、1988年（昭和63年）に廃止されました。臼井・大隈・嘉穂信号場・下山田・上山田・熊ヶ畑の各駅がありました。漆生線は、1986年（昭和61年）に廃止されました。下鴨生・鴨生・漆生・才田・嘉穂信号場・下山田の各駅がありました。

さ　下山田にある梅林公園は、毎年2月中旬から3月中旬にかけて約400本の梅の木に花が咲き、園内には甘い香りが立ち込めています。7種類の梅が咲き、観梅期間中はライトアップされます。白馬山の山麓に位置し、登山道の入り口になっています。

し　江戸時代の上西郷地区は、毎年水不足に悩まされていました。1827年医者の正人どんが藩主に直訴して、一鍬の幅の溝を掘ることを許されました。正人どんは、大きな鍬で溝を掘ったため、正人どんと家族も処刑されました。供養碑が残されています。

す　野菜・肉・魚・総菜がそろった「道の駅うすい」は、スーパー並みの品揃えです。特に、地元産の野菜が豊富です。裏手に回ると個性豊かなテナントさんがずらりと並ぶ一角があり、地元グルメが同時に堪能できます。車は１７０台以上駐車可能で、県内各地からの買い物客で賑わっています。

ぜ　創建は大永年間（１５２１～１５２７）と伝わっています。もともと下益村にあり、１５８７年の豊臣秀吉による九州平定の際、現在の上西郷へ移りました。秋月藩とのゆかりも深く、初代藩主黒田長興が滞在した記録も残っています。山門はかつての益富城の大手門を移築したものです。

そ　かましししちゃんは、嘉麻市のゆるキャラ係長です。背中には、かつて４つの市町だった嘉麻市の、合併幸せの証を意味したクローバーがあります。１つだけ色の違う葉っぱに触れると何か良い事があるとか・・・。誕生日は４月４日です。

た　稲築町制４０周年記念公園の丘の麓に、元三井山野鉱業学校の練習坑道があります。技術者養成のために、木枠組や採掘などの実習、校内火災などの災害救助の訓練に昭和４８年まで使われていました。

ち　２０１４年、新しい「神楽」の創造を目指して、上山田地区に「弥栄神楽座」が設立されました。射手引神社で年１回（５月）の奉納をするなど、衣装や神楽の演目などは全てオリジナルで創作しています。

つ　２０１９（令和２）年に開通した八丁峠道路は、嘉麻市大力から朝倉市秋月を結ぶ、約４．５㎞の道路です。その大部分は、「八丁トンネル」で、３７９１mあります。国道３２２号八丁峠は、冬季の積雪などにより通行規制が多い交通の難所でした。

て　秀吉の朝鮮出兵の折、連れて来られた高取焼の開祖高取八山は、帰国を願い出て、山田の木城に山流しにあいました。山田の地で窯を開き、作陶生活を続けました。昭和４３年に発掘された抹茶碗は、大変貴重な品で、山田図書館に展示されています。

と　足利尊氏が、１３３９年に戦死者供養等のために全国に建てた安国寺の一つです。戦いで負けた足利尊氏が下山田の白馬山に逃れてきたと言われており、筑前国では、この場所に建てられました。

な　後藤又兵衛は、朝鮮出兵や関ヶ原の戦いで武功を挙げた黒田家の家臣でした。関ヶ原の戦いの後、益富城主となりましたが、元々黒田長政と仲が悪かったので、１６０６年に出奔しました。最後は大坂の陣で討ち死にしました。

に　鮭神社は、島根県雲南市、北海道広尾町にもあります。大隈の地にある鮭神社は、７６９年建立といわれています。毎年１２月１３日には遠賀川で獲れた鮭が奉納される献鮭祭が開催されています。境内には夫婦クスという大きなクスノキがあり、昭和５５年に嘉麻市の天然記念物に指定されました。

ぬ　碓井には、「一枚、二枚、三枚、…」と、皿を数える「お菊さん」で有名な皿屋敷伝説の舞台が存在しています。お菊が身を投げたという井戸とその霊を祀った堂お菊大明神があります。参拝すれば、腰から下の病気が治るというご利益が伝わっています。

ね　住民アンケートの結果、最も多く投票された木が「桜」です。「桜」は、公園や学校など市内各所に見られ、人々の目を楽しませてくれます。また、入学や入社など人生の大きな節目の時期に咲き、多くの人々の心を惹きつけます。

の　桜の名所である稲築公園には、約１５０本の桜が植えられています。昭和５１年頃から公園整備が始まり、その後植えられた桜が咲き誇り、桜の名所になりました。公園内には山上憶良の万葉歌碑もあります。

は　長谷山は、標高３１１ｍのハイキングに最適な登山コースです。長谷寺・笹原・桂川町の３方面から１５分～２０分程で登ることができ、山頂からは嘉麻市内・嘉穂アルプスを一望できます。

ひ　千手川の末永橋から笹原橋にかけて、「末永石・はなぐり石」などの長い年月をかけてできた大小５０を超える奇岩群が見られます。おう穴と呼ばれる自然の造形物で、千手川のおう穴群といわれ、県指定天然記念物になっています。

ふ　昭和２（１９２７）年に米国の子どもたちから大隈尋常高等小学校に、青い目の友情人形「ペッギイ」が贈られました。しかし、その１４年後、太平洋戦争が始まりました。戦中戦後も人形を隠し、大切に保管され、今も嘉穂小学校に残っています。

へ　碓井平和祈念館は、平成８年に開館しました。正面入り口前には星野村（現八女市）から分火された「平和の火」が恒久の平和を願い灯されています。日中戦争から太平洋戦争までの様々な戦時資料が常設展示されています。

ほ　山田地区を流れる山田川では、６月～７月にかけて、ゲンジボタルが飛びます。ゲンジボタルは、きれいな川に生息しています。学校や地域の方々は、山田川の清流を守り、自然を守り、ゲンジボタルの飛び交う里を守り続けています。

ま　山上憶良は、660年に生まれた奈良時代を代表する歌人です。726年筑前守に任ぜられ、民情視察等で嘉麻市に度々来ており、この地で選定した三つの歌は「嘉麻三部作」として知られています。「貧窮問答歌」が有名で、稲築公園、鴨生公園等に歌碑があります。

み　宮野小野谷地区は、「小野谷あじさい愛好会」の方々を中心に、市道沿いやあぜ道にあじさいを栽培しています。5月から6月にかけて、色とりどりのあじさいが咲き誇る集落は、「小野谷あじさいロード」と呼ばれています。

む　1965年6月1日、山野炭鉱でガス爆発事故が発生し、237名の方々が亡くなられました。
稲築町制40周年記念公園内には、現在慰霊碑があり、子どもたちは、毎年清掃活動を行うなどして、事故を心に刻んでいます。

め　大隈には、江戸時代から続く大きな「造り酒屋」が3件あります。嘉麻市のきれいな川とおいしいお米を原料に、全国でも有名なお酒を造っています。建物が国登録の有形文化財に選ばれたり、お酒が全国で表彰されたりしました。

も　織田廣喜美術館には、古処山で撮影され、世界的に有名になったCM「森の木琴」に登場した自然木の木琴があります。2011年カンヌ国際広告祭において金賞を受賞しました。

や　秋分の日に若八幡神社で行われる「山野の楽」は、1244年に伝わったといわれ、県無形民俗文化財に指定されています。12人の楽打ち隊は、白足袋わらじで、笛やカネで、はやしながら「文化ふれあい伝承館」を出発、町内を練り歩きます。

ゆ　県有形民俗文化財に指定されている山野の石像群（五百羅漢）は、約３５０体の石像群です。鎌倉時代に妙道という人物が石仏を奉納したのが始まりといわれています。石像は、泣いたり笑ったりと表情も豊かで、見る人の心を和ませてくれます。

よ　福岡県のほぼ中央部に位置する嘉麻市は、平成１８年３月２７日に、当時の山田市、嘉穂町、碓井町、稲築町が合併して誕生しました。合併当時の嘉麻市の人口は、約４万７千人でした。

ら　稲築口春に高さ１５m、幹廻り４．３mもある大クスがあります。この大クスには、いたずら河童を結び付けて懲らしめたという話が伝えられています。村人が許してやったことで、川で溺れる人がいなくなったそうです。

り　馬見山中腹の斜面には、約７００本のりんごの木が育てられています。約８種育てています。九州でりんごを育てることは非常に難しいといわれています。初めてのリンゴを植えたのは、１９６９年です。約９種の梨も育てています。

る　１５８７年薩摩の島津氏を倒すために豊臣秀吉は、益富城に入りました。町民にかがり火を焚かせ、戸板や襖、畳を集め、城を急造した結果、秋月種実は降参しました。秀吉は、永代貢税を免除し、華文刺縫陣羽織（国重要文化財）を与えました。

れ　日本の獅子舞は、古くは奈良時代に中国から伝わったという説があります。江戸時代に定着して、祝い事や祭礼で獅子舞が披露されるようになってきました。嘉麻市内の神社でも、伝統を受け継ぎ、獅子舞が行われています。

ろ　住民アンケートの結果、最も多く投票された花が「つつじ」です。「つつじ」は、種類により様々な色や形の美しい花があり、繁殖も容易で鑑賞として多くの市民に愛され、親しまれています。

わ　遠賀川は、全長６１キロあります。その源流点は、飯塚から小石原に向かう国道２１１号線そばの馬見山の山中にあります。小石原の手前にある嘉麻峠近くの国道そばに「遠賀川源流公園」という休憩所と駐車場があります。